令和８年度いじめ撲滅標語コンクール
受賞作品

最優秀賞

最優秀賞

「悪くない」
それを決めるの
あなたじゃない

呉中央中学校１年　諏訪本　一希

作者のコメント

悪くないかを決めるのはいじめを受けている人です。自分の価値観を他人に押し付けるのはおかしいという思いから作りました。

- まさに，それだ！と思わされました。短い中ではっきりした思いが伝わりました。
- 相手の立場に立って発言したり行動したりしているか自問自答する事の大切さを感じました。
- いじめの定義を踏まえた作品になっています。上の句と下の句が「ない」で終わるリズムも秀逸です。



小学生部門

優秀賞

差しのべる
その手が変える
明日がある

阿賀小学校５年　大塚　明雅音

作者のコメント

誰かが辛い思いをしていたら，知らないふりをするのではなく，手を差し伸べてあげられる人で溢れた学校になって欲しいという思いで標語を作りました。

- 一つの行動が未来につながることが想像できます。
- 相談はよいことであるということが浸透してきたと分かる作品です。
- 相談を受けた側の気持ちや，相談した側の希望が感じられます。

中高生部門

優秀賞

多様性
相手も自分も
リスペクト

明徳中学校２年　古本　新花

作者のコメント

差別やいじめをするのではなく，一人ひとりの個性を大切にし，いじめをなくしたいという思いで標語を作りました。

- 相手も自分も大切に考えることができる子どもたちでいてほしいです。
- 自他共に尊重し合って生活していこうという決意が感じられます。

